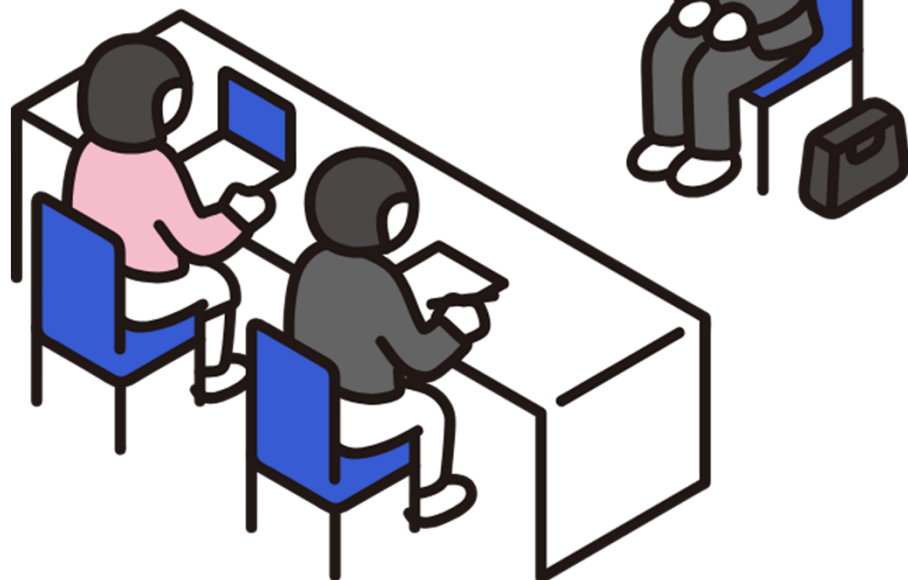


伊勢原市役所 職員採用Q & A

伊勢原市役所に入りたい人が、
気になることに答えます。

TOPIC

- 伊勢原市の特徴や事業
- 採用試験
- 職場環境や各種制度



伊勢原市役所に入りたい人が、 気になることに答えます。

伊勢原市の特徴や事業について

Q.伊勢原市の強みは何ですか？

A.伊勢原市は、東海大学医学部付属病院をはじめとする、全国有数の医療環境が整っています。また、県内有数のフルーツの里でもあり、季節に合った様々な食を楽しむことができます。

この他にも、日向溪谷や大山山麓の豊かな森、青田が広がる田園風景など、人々の心に懐かしさと安らぎを与えてくれるまちです。

一方で、都市からは1時間圏内の環境であり、近年では広域幹線道路の整備も進み、これからも便利で伸びしろのあるまちです。

Q.今後、伊勢原市が持続的に発展するにあたり課題になりそうなことはどんなことでしょうか？

A.近年の地方自治体を取り巻く社会環境は、人口減少・少子高齢化の更なる進展や多発する自然災害、さらには先行きが不透明な経済見通しなど、年々、厳しさを増しています。

こうした中、市民のしあわせの創造に向け、人口減少社会の到来を見据えたまちづくりや、安全・安心な暮らしの実現、まちと地域経済の活性化、都市の持続性に配慮した魅力あるまちづくり、新たな自治の確立と将来を見据えた行財政基盤の強化などが大きな課題となっています。

Q.今、伊勢原市が、力を入れて取り組んでいることはなんですか？

A.現在伊勢原市では、伊勢原駅北口地区の市街地再開発事業、新東名高速道路の全線開通、小田急電鉄総合車両所の整備、都市計画道路田中笠窪線の整備など、利便性の高いまちづくりが進められています。

さらには、令和7年4月には、子育て支援の拠点となる新庁舎「こどもみらいプラザ」が本庁舎横にオープンしました。乳幼児のいる家庭へのおむつ支給等の支援策と併せ、子ども・若者に関する相談・支援機能の充実化を図ることで、子育て世代の子育てしやすい・暮らしやすいまちを目指しています。

採用試験に関する情報について

Q.キャリア教育（インターンシップ等）への参加は採用試験で有利になりますか？

A.一般的にキャリア教育（インターンシップ等）への参加が直接採用に結びつくことはありませんので、必ずしも有利になるとは言えません。しかし、仕事を実際に体験することや、そこで働く先輩社員と触れ合うことは、Webサイトなどでは絶対に得ることのできない貴重な財産となると思いますし、参加していただいた方のその後の職業選択の参考になるでしょう。

Q.試験当日に困ったことが起きたら、誰に相談したらよいのですか？

A.選考に関して困ったことが起きたら、まずは採用担当者に相談してみましょう。電車の遅延や体調不良、会場がわからないなど不測の事態は誰にでも起こるものです。困ったと思ったら、焦らず落ち着いて自分の置かれた状況をよく把握しましょう。早めの連絡をすることで何か対処できるかもしれません。もしもの時のために連絡先を控えておく心安心です。

（連絡先：伊勢原市役所総務部職員課 0463-94-4873）

Q.過去の筆記試験の問題はどこで入手できますか？

A.筆記試験の問題は公開していません。なお、筆記試験の内容については、採用試験に関する受験案内をご確認ください。

Q.事務適性検査の対策は、SPIの対策をしておけば良いのでしょうか？

A.本市ではSPIの導入はしておらず、SPI試験の対策で、本市の事務適性検査の対策ができていのかはっきりと申し上げることはできません。事務適性検査の詳細は非公開ですが、事務職員としての適応性を正確さ、迅速さ等の作業能力の面から図る試験となっております。

Q.集団面接では事前に課題等が出されるのでしょうか。

A.当日こちらからいくつか質問をさせていただきますので、事前に課題を出すことはありません。強いて申し上げるのであれば、自己紹介はしていただきますので、短い時間で魅力が伝わるようにご準備をお願いします。

Q.試験日が他の自治体と被ってしまったら日にちの変更はできますか？

A.試験日時の変更は、他の受験者との公平性の観点から原則お受けできません。

採用試験に関する情報について

Q.居住地や性別などによる採用試験の有利不利はありますか？

A.申し込みや受験に関して、そのようなことは一切ありません。受験資格を満たしていれば、誰でも受験することができます。

Q.選考に当たって“他とはココが違う！”というポイントはありますか？

A.伊勢原市の採用試験では、「人物重視」の観点から一次試験を筆記試験から集団面接に変更し、書類や点数ではわからない、その人の魅力を把握するように努めています。

伊勢原市に愛着があり、社会人としてのスタートを伊勢原市で始めたいと本気で思ってくれる方と一緒に働きたいと強く願っています。皆さんの熱い思いを面接でぜひお話しください。

Q.試験に合格した後のことについて教えてください。

A.最終合格者は、採用候補者として採用候補者名簿に登録されます。任命権者は、採用面接・受験資格の確認を行い、その結果に基づき採用者を内定します。

Q.試験・選考の成績は配属先の決定に影響しますか？

A.配属先は、試験・選考の成績が直接影響しません。本人の希望や適性を踏まえ、業務の必要性の状況を考慮して決定しています。このため、最終面接時に希望する職務などについて伺いますが、必ずしも希望どおりに決まるとは限りません。

Q.内定から採用まではどのくらい期間が空きますか。

A.受験いただく試験にもよりますが、最短で6月に内定を出すため、翌年4月に入庁する場合、最大9ヵ月程度の期間が空くことになります。

不安を感じる方もいらっしゃるかと思いますが、入庁までには内定者向けのニュースレターの発行や、内定者懇親会の実施を予定しております。入庁後に同期となる参加者同士の交流はもちろん、本市職員との座談会を通し、入庁までの不安を取り除けるフォロー施策を用意してお待ちしています。



職場環境や各種制度に関する情報について

Q.伊勢原市役所が求める人物像について教えてください。

A.令和7年度に改定された「伊勢原市人材育成基本方針」では、「伊勢原市の明るい未来を「そうぞう」し 共に挑戦する職員」をめざす職員像として掲げています。

めざす職員像を実現するためには、職務の遂行にあたる心構えとして5つの行動指針を掲げており、職種や職位等、それぞれ異なる立場にはあるものの、職員一人ひとりが、5つの行動指針を常に意識し、日々の業務に従事することが求められています。

Q.仕事のやりがいや難しかったこと、また、それらを乗り越えるためどのような対策が必要ですか。

A.市役所の仕事は異動があれば、全く違う業務に就くことがあります。これまでの知識や経験が活かしづらい場合もあり、苦勞することも多いです。

ただし、市役所に勤める以上、これは当たり前前の状況なので、日頃自ら学習する時間を設けたり、経験豊富な職員にアドバイスを求めたり、関連する研修等を積極的に受講することで対応していくことが必要になると思います。

Q.OJT制度やメンター制度はありますか。

A.OJT担当者の設定は行っておりませんが、各所属で担当業務についてのOJTを実施しています。OJTは新採用職員と比較的年代の近い職員が担当をすることが多いです。

また、メンター制度は令和7年度より開始しました。他所属の先輩職員がメンターとなり、月1回程度面談を行うことで、新採用職員の自立的な成長を促しています。

Q.職員一人一人に対して目標や課題を浸透させる為に、どのような取り組みをしていますか？

A.伊勢原市においては、庁内最高の協議調整機関である部長会議において、行政の運営全般にわたる重要事項について意見調整、また情報共有を行っています。

この部長会議で共有された情報に加え、市長からの指示事項等を踏まえ、部長から直接課長に対して情報伝達するとともに、各所属においても課長から所属の職員に内容を伝達することで全庁的に目標や課題を共有し、取り組みを進めています。

職場環境や各種制度に関する情報について

Q.部署や所属によって組織風土の違いはありますか？

A.異なる所属であっても、同じ市役所の仲間として働いているので、組織風土に大きな違いは無いと思います。

しかし、部署ごとに必要なスキルや知識は大きく変わりますので、OJTや自己研鑽など、必要知識の習得は必要になります。

また、個人ごとにキャラクターは違うので、職場内でのコミュニケーションを図りながら、職員一人一人の個性を発揮して活躍しています。

Q.伊勢原市ではどのように人事評価を行っていますか？

A.伊勢原市では、年に1回の「能力・意欲」に関する評価と年に2回の「実績（業績）」に関する評価を行っています。自己評価から一次、二次の多面的な評価を行い、また、評価結果を本人にフィードバックすることで、人材育成の仕組みとしても活用しています。また、人事評価の結果により、成績優秀者は期末勤勉手当の成績率が上がるようになりました。

また、令和7年度より「職場環境調査」を開始し、上司から部下への評価のみならず、職場環境そのものに対しても評価を行うことで、風とおしのよい職場環境づくりを進めております。

Q.正直なところ、残業はどのくらいありますか？

A.全庁的な平均では、月に10数時間程度です。行政運営は限られた財源と時間の中で行うため、効率的かつ効果的に行うことが必要です。このため、職員一人一人が自主的に日々の業務を改善し、短い時間で高い生産性を出すように努めています。

一方で、イベント事業の前や課税業務などの繁忙期については、遅くまで残業しなければならないケースも当然あります。

Q.何かアイデアをひらめいた際に、それを他部署や経営層に提案することは可能ですか？

A.伊勢原市ではボトムアップの仕組みとして、職員提案制度を設けています。事務や作業の能率向上、経費の節減に関するもの、市民サービスの向上、地域の活性化に関するものなど、職員からの提案を随時受け付けています。受けた提案は、部長職による職員提案審査会で審査を行い、優れた提案については、関係する所属で実施されることとしています。